

岡崎市唯一の“あいちの伝統野菜”

「法性寺ねぎ」が出荷ピークを迎えます！



【取材対応：1月24日(火) AM10:00】

J Aあいち三河法性寺ねぎ研究会（岡崎市／会長：八田政弘）が栽培する「法性寺（ほっしょうじ）ねぎ」の出荷が最盛期を迎えています。法性寺ねぎは岡崎市法性寺町を中心に栽培しており、平成15年に岡崎市で唯一「あいちの伝統野菜」に登録されました。岡崎市の農林産物ブランド化推進品目にも指定されています。冬の寒さによって甘く柔らかな食感になるため、寒さが厳しくなる12月から3月が旬となります。

『法性寺ねぎ』は甘みや香りが強く、柔らかいのが特徴です。品質の安定したネギの出荷を目指し、当研究会では年に2回の圃場巡回を行っています。また、出荷最盛期の前に目揃え会を開催して規格を統一し、品質にばらつきが無いよう努めています。

J Aあいち三河法性寺ねぎ研究会 概況

栽培品種：法性寺ねぎ
栽培地域：岡崎市（法性寺町を中心として栽培）
栽培面積：約2.0ヘクタール
部会員数：17名（会長 八田政弘さん・法性寺町）
出荷期間：11月～3月末
（1月下旬がピークとなります）
出荷先：当JA産直施設など



取材対応（内容：収穫作業・結束作業等）

日 時：1月24日（火）10:00
集合場所：J Aあいち三河本店経済センター駐車場
（岡崎市坂左右町葦ノ部18-1）
⇒その後近藤さんの畑にご案内いたします。
※撮影場所まで車で移動いたします（10分程度）。



▲結束作業（上）と法性寺ねぎ（下）

<お問い合わせ> ※取材にお越しいただける際は、事前にご連絡ください。

J Aあいち三河 総合企画室 企画広報課（担当：岡田）

TEL：0564-55-3034 FAX：0564-55-2950 E-mail：kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、JAグループ愛知記者会、岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。